

科目	日本の文学 (Japanese Literature)		
担当教員	石原 のり子 准教授		
対象学年等	全学科・5年・前期・選択・1単位【講義】(学修単位1)		
学習・教育目標	C3(80%), D2(20%)		
授業の概要と方針	文学作品に触れることを通して、我々は他者の視点から世界を見ることができる。それは豊かに生きることに繋がるだけでなく、ものごとを客観的に見たり考えたりする素地にもなる。古典文学は遠い昔に書かれたものではあるが、長きにわたり、人びとが手もとに置き、親しみ、伝えてきたことで、今我々はそれに触れることができる。本講義では、物語や随筆、日記や和歌といったさまざまな文学作品を読むことを通して、その作品のみならず、日本の文化や歴史、ことばについても学ぶ。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【C3】日本の文学の特徴について理解し、適切に説明できる。		日本の文学の特徴についての知識や理解度を、定期試験とレポートで評価する。
2	【C3】日本文学に関連する歴史や文化について理解し、適切に説明できる。		日本文学に関連する歴史や文化についての知識や理解度を、定期試験とレポートで評価する。
3	【D2】日本文学に影響を与えた外国文学について理解し、適切に説明できる。		日本文学に影響を与えた外国文学についての知識や理解度を、定期試験とレポートで評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験80% レポート20% として評価する。到達目標1～3についての試験80%、到達目標1～3に関するレポート20%として評価、100点満点で60点以上を合格とする。なお、再試験を実施する場合は、70点以上で合格とし、定期試験の点数を60点とする。		
テキスト	適宜プリント教材を配付する		
参考書	保立道久『平安王朝』(岩波新書) 池田亀鑑『平安朝の生活と文学』(ちくま学芸文庫) 益田勝実『火山列島の思想』(講談社学術文庫) 土田直鎮『王朝の貴族』(中公文庫) 橋本義彦『平安貴族』(平凡社ライブラリー)		
関連科目	第1,2,3年「国語」		
履修上の注意事項			

授業計画(日本の文学)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	ガイダンス	授業で取り扱う作品についての概説
2	ものがたりのはじまり-「桐壺巻」	『源氏物語』『桐壺巻』の概要について学ぶ
3	ものがたりのはじまり-「桐壺巻」	『源氏物語』『桐壺巻』の概要について学ぶ
4	ものがたりのはじまり-「桐壺巻」	『源氏物語』『桐壺巻』の概要について学ぶ
5	「長恨歌」の影響	『源氏物語』をはじめ、日本古典文学に多大な影響を与えた「長恨歌」白居易について学ぶ
6	平安時代の貴族と政治	平安時代中期までの政治について、文学作品を通じて学ぶ
7	平安時代の貴族と政治	平安時代中期までの政治について、文学作品を通じて学ぶ
8	平安時代の貴族と政治	平安時代中期までの政治について、文学作品を通じて学ぶ
9	平安時代の貴族と政治	平安時代中期までの政治について、文学作品を通じて学ぶ
10	一条朝と女流文学	女流文学が隆盛を極めた一条天皇の時代と、その時代に生まれた文学について学ぶ
11	一条朝と女流文学	女流文学が隆盛を極めた一条天皇の時代と、その時代に生まれた文学について学ぶ
12	一条朝と女流文学	女流文学が隆盛を極めた一条天皇の時代と、その時代に生まれた文学について学ぶ
13	一条朝と女流文学	女流文学が隆盛を極めた一条天皇の時代と、その時代に生まれた文学について学ぶ
14	一条朝と女流文学	女流文学が隆盛を極めた一条天皇の時代と、その時代に生まれた文学について学ぶ
15	一条朝と女流文学／まとめ	女流文学が隆盛を極めた一条天皇の時代と、その時代に生まれた文学について学ぶ／まとめ
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	前期定期試験を実施する。	